

4 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:中山正夫
山 域	奥美濃	報告日	04/11		
山 名	雷倉	山行日	12 年 4 月 7 日 (土) ~ 4 月 8 日		

山行目的	バイク単独で春の奥美濃を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集会担当者	

2.5 万分の 1 地図: 能郷、樽見

4/7(土)晴
 03:30 自宅発
 岡崎 IC-木曾川 IC-本巣市-根尾
 06:25 八谷登山口着
 07:10 発
 08:05~:15 休憩
 08:40~:50 休憩
 10:05~:15 休憩(830m)
 10:20~:30 アゼン装着(林道出合)
 11:25~:35 休憩
 12:25~:35 休憩(主稜線)
 12:45 雷倉頂上着
 13:45~:55 休憩(林道)
 15:00~:20 アゼン外し
 17:00 道迷い
 18:00 八谷登山口着
 20:00 本巣道の駅宿泊

4/8(日)晴
 05:30 起床
 06:50 道の駅発
 各務ヶ原 IC-岡崎 IC-幸田
 09:00 自宅着

雷倉

〈山行報告〉4/7(土)3:30 バイクで自宅発。岡崎 IC-一宮木曾川 IC-本巣市-根尾へ入っていくが、なんだか田んぼや家々の屋根が白い、なんと雪が降ったみたいだ。6:25 八谷登山口着。右岸の用水沿いに入っていく、赤錆の橋を渡り顕著な尾根に取り付く。要所に赤テープがあり道もはっきりしている。やがて雪道急登の岩場があり、重い荷物であえぎ登り行く。林道出合からアイゼンを付け新雪のラッセルとなる。雪底を避けて樹林を行くと、踏み抜いて腰までスッポリはまり、脱出に体力を消耗していく。主稜線に出るまで、4 時間半かかり、やっとの思いで 12:45 雷倉頂上着。他に登山者なく、自分のトレース 1 本のみ。計画書のタンポ西台山縦走はとても無理、強風で消えかかるトレースを頼りにして即下山と決める。最初、足首捻挫、次に両足に力はいらず、腰が抜けた感じ、とどめは右目が霞んできて、ルートが見えない。早く安全圏に逃げたいが進めない。日暮れ前になって両目見え、道迷い、見知らぬ堰堤の上の河原に降りてしまった。地図見え、このままだと、遭難かとあせる。見覚えのある所までひき返す事として、登り返すと、かすかな踏み跡が見つかり、手探りでようやく鉄橋まで戻ってこれた。

登山口のバイクまで戻り帰る準備をしていたら、今度はヘルメットのフードが壊れてしまい、応急処置を見えぬ目で行い、完全に日が暮れた。無理やりバイクに乗ったが、対向車のライトがやたらまぶしく感じた。これは、瞳孔が開きっぱなしになって、前が見えないのだと思った。本巣道の駅まで戻り、駐車場に TENT を張り 22:00 就寝。

〈リーダー所見〉今回の単独行は今までで一番辛かった。色々なアクシデントが次々に起こり、なんとか対処して生還できてよかった。このまま目が見えなくなると恐怖だった。さいわいにも、日曜日の朝両目が快復したので、急いで自宅に帰った。体調管理を今後どうするかが、課題として残った。

春雪やタンポ峰まで遠きかな
 雪庇避け木を頼れば落とし穴
 雷倉や思わぬ雪にワカンなし

沖仙

確認 (リーダー)	中
	12/04/10
	山
作成 (報告者)	中
	12/04/11
	山